



ひゅうが

市議会だより

2016

(平成28年)

4月28日発行

3

No. 144



(左) 財光寺北市営住宅避難階段
(右上) 長江避難タワー (財光寺)
(右下) 堀一方避難タワー (日知屋)

■ 3月定例会 (平成28年第1回定例会)

会期 1月29日～2月22日 (25日間)

◇市長提出議案	報告	2件
	人事案件	1件
	条例	19件
	事件決議	3件
	補正予算	9件
	当初予算	15件
◇委員会提出議案	条例等	2件
	決議	1件
◇請願等	請願	3件
	陳情	1件

平成28年度予算の概要	2
委員会審査報告	3
市長から提案された議案と審議結果	4
討論	6
請願・陳情の審議結果	7
一般質問	8
議会報告会	13

平成28年度一般会計予算 291億円

「総合計画 後期基本計画」の最終年度で、「雇用」「安全・安心」「人材育成」の3つの重点プロジェクトに「元気な“日向市”未来創造戦略」を取り入れ、各施策を推進していく。本年度は骨格予算となるため、政策的または新規事業は補正予算に計上するが、行政の継続性を維持する必要から、早急な対応を要する経費等については当初予算に計上している。(当局説明)

【主な予算項目】

- ◇ 地震・津波防災施設整備事業 2億1,500万円
津波避難タワー建設、津波避難用人工山の設計等
- ◇ ふるさと日向市応援寄附金事業 3億円(寄附見込額5億5千万円)
- ◇ 観光客誘致推進事業 1,212万円
旅行エージェント等の招へい、雑誌・新聞等広告、福岡市地下鉄等観光PR広告等
- ◇ 薬草の里づくり事業 500万円
薬草の講演会の開催、栽培管理等の委託等
- ◇ 子ども医療費助成事業 2億1,626万円
中学校卒業までに拡充(平成28年1月診療分から)
- ◇ キャリア教育推進事業 1,090万円
「よのなか花まる先生」による学習支援等

平成28年度一般会計以外の予算

会計区分	当初予算額	対前年度当初予算伸率%
特別会計		
公営住宅事業特別会計	3億2,500万円	△7.7
財光寺南土地区画整理事業特別会計	4,000万円	0.0
用地取得特別会計	3億5,100万円	0.0
城山墓園事業特別会計	950万円	58.3
簡易給水施設特別会計	180万円	△18.2
細島東部住環境整備事業特別会計	0	皆減(事業終了)
簡易水道事業特別会計	9,600万円	△3.0
農業集落排水事業特別会計	1億4,100万円	0.7
国民健康保険事業特別会計	91億6,000万円	1.0
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	51億2,000万円	2.4
日向入郷地域介護認定審査事業特別会計	3,800万円	△5.0
後期高齢者医療事業特別会計	6億7,300万円	0.9
企業会計		
水道事業会計	17億2,929万円	2.6
下水道事業会計	25億8,799万円	△2.6
病院事業会計	4億6,617万円	△9.3

補正予算

平成27年度一般会計補正予算 (12月専決) 1億1,408万円
 補正後総額 (2月) 1億2,352万円
 (2月追加) 4億9,377万円

【主な補正内容】

- ◇ 農地・農業用施設災害復旧事業 5,610万円
平成27年12月10日の豪雨被災農地、道路、河川等の災害復旧工事他(12月専決)
- ◇ ひむかーBiz運営事業 1,950万円
地方創生加速化交付金事業・単独(2月追加補正)
- ◇ 富島幹線水路整備事業 1,390万円
水路取水口の改修に伴い、取水量管理のための流量計の設置(2月補正)
- ◇ サーフタウン日向「来て・見て・住んで」観光移住促進強化事業 4,800万円
地方創生加速化交付金事業・単独(2月追加補正)
- ◇ スポーツキャンプ活性化事業 200万円
合併10周年記念事業の一環として、球春みやざきベースボールゲームズの本市における開催費用の一部を負担(2月補正)
- ◇ 地域連携・官民連携による観光推進事業 230万円
地方創生加速化交付金事業・連携(2月追加補正)

3月定例会

委員会審査から



3月定例会初日に上程された市長提出議案48件のうち、人事案件1件(初日に議決)を除く47件について、9日間の議案熟読の後、2月15日に本会議で質疑を行い、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。

委員会における審査の内容を、委員長報告の中から紹介します。議案名については、4・5ページをご覧ください。

総務政策常任委員会

付託された議案は報告1件、条例14件、補正予算1件、当初予算1件の計17件です。このうち、日向市勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例他条例2件を賛成多数で、また専決処分に係る報告1件及び日向市行政不服審査法施行条例他条例10件並びに平成27年度日向市一般会計補正予算、同28年度当初予算の2件については全員一致で可決しました。

審査の主な内容は次のとおりです。新庁舎の木材利用について、「新庁舎で使用する木材の総量は、73㎡のヒノキ材を含む杉材327㎡で、すべて耳川流域産材を使用する。日向市駅舎の総使用量が540㎡なので、かなりの量になる。そのうち約

半分の167㎡について、市内上大谷地区の市有林5・7haにある樹齢59年の杉材、約4640本程度を充てる。また加工に関しても、不燃処理、圧縮など特殊技術を要するもの以外は市内で小割りまで行って施工業者に納入する。また中国濰坊市との交流事業について「平成28年度は友好締結から30周年を迎えるので、予算約600万円で記念事業の実施を予定している」などの説明がありました。

来年度から導入される人事評価制度については、閉会中に調査を行うことにしました。

文教福祉環境常任委員会

付託された議案は、報告1件、条例2件、補正予算5件、当初予算7

件の計15件です。委員会において慎重に審査した結果、報告第1号、議案第16号、17号、24号、27号、28号、29号、31号、36号、42号、46号について、別段異議なく、全員一致をもって原案のとおり承認、可決しました。次に、議案第32号、40号、41号、43号について、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

なお、審査を踏まえ、次の点を付記しました。

委員会での質疑・意見等に対しては、現状やその後の進捗状況等を確認・管理しておき、次の委員会審査において的確な答弁ができるよう努めるとともに、意見・要望等を可能な限り実現・反映できるよう努められたい。

また、委員会審査は、分かりやすい質問と簡潔で的確な答弁により構成されることが望ましい。よって、当初予算を説明する際には、前年度の決算データを基に新年度に反映させた点と、新規及び重点的に実施する事業等について明確に説明を行うよう努められたい。

産業建設水道常任委員会

付託された議案は、報告1件、条

例3件、事件決議3件、補正予算4件、当初予算9件の計20件です。委員会において慎重に審査した結果、全員一致で原案のとおり承認、可決しました。

なお審査を踏まえ、次の2点を委員会の意見として付記しました。

水道課所管の鳥川地区の未普及解消事業は、鳥川地区に上水道を整備するものであるが、地元からは1日も早い完成の要望が強い。この事業は、水道管末端の飯谷から2kmあるが、繋ぎこみを決断したものである。水道事業会計から年間1千万円を投資しており、これ以上の投資は厳しい状況であるが、1日も早く安全で良質な水を供給するため、なお一層の努力をされたい。

また、飲料水供給施設については、地元で管理できている地域もあるが、高齢化によって管理ができない地域もある。安全で良質な水を確保するため、住民が補助制度を活用することや、施設を市の管理に移管すること等を含め、関係課と連携して実態把握に努められたい。

上下水道局について、本年4月から電力自由化が始まるが、大量の電力を使用する施設等にあつては、入札制度を含め、全庁的に検討されたい。

議案番号	議案名	議決結果	付託委員会
議案第32号	平成28年度日向市一般会計予算	可決(賛成多数)	総務政策 文教福祉環境 産業建設水道
議案第33号	平成28年度日向市公営住宅事業特別会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第34号	平成28年度日向市財光寺南土地区画整理事業特別会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第35号	平成28年度日向市用地取得特別会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第36号	平成28年度日向市城山墓園事業特別会計予算	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第37号	平成28年度日向市簡易給水施設特別会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第38号	平成28年度日向市簡易水道事業特別会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第39号	平成28年度日向市農業集落排水事業特別会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第40号	平成28年度日向市国民健康保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)	文教福祉環境
議案第41号	平成28年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算	可決(賛成多数)	文教福祉環境
議案第42号	平成28年度日向入郷地域介護認定審査事業特別会計予算	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第43号	平成28年度日向市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(賛成多数)	文教福祉環境
議案第44号	平成28年度日向市水道事業会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第45号	平成28年度日向市下水道事業会計予算	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第46号	平成28年度日向市病院事業会計予算	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第47号	平成27年度日向市一般会計補正予算(第6号)	可決(賛成多数)	特別委員会

▼市長から提案された議案と審議結果 第1回定例会(1月29日～2月22日)

議案番号	議案名	議決結果	付託委員会
報告第1号	専決処分の承認について(日向市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例等の一部を改正する条例)	承認(全員一致)	文教福祉環境
報告第2号	専決処分の承認について(平成27年度日向市一般会計補正予算(第4号))	承認(全員一致)	総務政策 産業建設水道
議案第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意(全員一致)	付託省略
議案第2号	日向市行政不服審査法施行条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第3号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第4号	日向市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第5号	字の区域及び名称の変更に伴う関係条例の整備に関する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第6号	日向市特別会計条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第7号	日向市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び日向市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第8号	日向市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第9号	日向市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(賛成多数)	総務政策
議案第10号	日向市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決(賛成多数)	総務政策
議案第11号	日向市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	可決(賛成多数)	総務政策
議案第12号	日向市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第13号	日向市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第14号	日向市火災予防条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第15号	日向市消防団条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	総務政策
議案第16号	日向市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第17号	日向市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第18号	日向市手数料条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第19号	日向市建築審査会条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第20号	日向市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第21号	財産の処分について	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第22号	市道の路線の認定について	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第23号	区域外町道路線の認定の承諾について	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第24号	平成27年度日向市一般会計補正予算(第5号)	可決(全員一致)	総務政策 文教福祉環境 産業建設水道
議案第25号	平成27年度日向市公営住宅事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第26号	平成27年度日向市財光寺南土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第27号	平成27年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第28号	平成27年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第29号	平成27年度日向市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第30号	平成27年度日向市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第31号	平成27年度日向市病院事業会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)	文教福祉環境

▼表決結果の分かれた議案

議案名	議員名																					
	畠原幸裕	松葉進一	森腰英二	若杉盛司	友石修司	治田美春	谷口高広	黒木金喜	黒木勝久	近藤和広	日高喜久代	三井寿一	富野誓生	海木万治	黒原紘彦	荻原敏彦	岩切吉裕	木田吉信	溝口孝和	柏田公和	西村豪武	
議案第9号 日向市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第10号 日向市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 日向市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号 平成28年度日向市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 平成28年度日向市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号 平成28年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号 平成28年度日向市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号 平成27年度日向市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。 畠原幸裕議員は、議長職のため通常は表決権はありません。

▼請願・陳情と審議結果

請願・陳情件名	審議結果	付託委員会
(継続) 請願第6号 「治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を求める意見書」採択の請願 請願者：宮崎市松橋2-2-10 治安維持法犠牲者国賠同盟 宮崎県 会長 日高 脩さん (趣旨 1925年に制定された治安維持法の下、国民主権、戦争反対を唱えた多くの国民、政党、宗教家などは弾圧を受けたが、今に至るも治安維持法犠牲者の名誉回復は行われていない。よって、国に対して「治安維持法犠牲者への国家賠償法(仮称)制定」を求める意見書を提出して欲しい。)	不採択 (賛成少数)	総務政策
(新規) 請願第7号 避難タワー建設に関する請願書 請願者：日向市亀崎東1-25-1 日向鉄鋼会 会長 清本 康夫さん 日向市日知屋17148-9 ひまわり工業会 会長 島原 俊英さん (趣旨 津波避難タワーの建設工事が市内一般建築業者に発注されているが、地元鉄工業者も大型の鋼構造物に関して実績がある。設計製作施工の一貫した工事も可能なので、避難タワー工事を発注する際は、地元鉄工業者を指名するよう、当局に対して求めて欲しい。)	継続審議 (賛成多数)	総務政策
(新規) 請願第8号 「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願 請願者：宮崎市清水3丁目2-22 青少年健全育成宮崎県民の会 会長 日高 利雄さん (趣旨 明日の社会を担う青少年の健全育成は、都道府県の条例等で一定の効果は上げたが、限界がきている。今必要なのは、一貫性のある包括的・体系的な法整備なので、国会等に「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書を提出して欲しい。)	継続審議 (賛成多数)	文教福祉環境
(新規) 陳情第3号 「2020年東京オリンピック」サーフィン競技大会招致に関する決議を求める陳情書 陳情者：日向市上町3番15号 東京オリンピックサーフィン競技大会招致実行委員会 会長 三輪 純司さん (趣旨 2020年東京オリンピックの追加種目にサーフィンが選定されることが濃厚になった。国内有数のサーフスポットである本市に、本大会を招致すべく市民の決起大会も盛大に開催された。サーフィンの追加種目決定と日向市での大会開催を求める決議をして欲しい。)	採択 (全員一致)	産業建設水道

市議会を傍聴してみませんか!?



市議会を傍聴することは、市政の動きや課題を理解し、皆さんから選ばれた議員の活動状況などを知る一つの方法です。

市議会は、毎年4回の定例会(通常3月、6月、9月、12月)が開かれ、この時には市政全般についての一般質問や委員会審査も行われます。また、必要に応じて開かれる臨時会があります。

会議の日程や傍聴について詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。なお、3月議会の傍聴者は、延べ22名でした。



議会改革特別委員会

ミニミニ報告

日向市議会の4つある特別委員会の一つ、議会改革特別委員会は現在、実行済みの改革項目を最終的には議会基本条例としてまとめようと精力的に改革協議を進めています。

一年間の議論で、既に実施を決めたものが、たとえば政策討論会の開催、また実施を前提に協議中の課題は、市民の要望でどこにでも出向く「市民懇談会」の実施、一般質問ができない閉会中の文書質問制度、予算等の重要事項は所属委員会にかかわらず全員が情報を共有すべきなので、そのための全議員を対象とする議案内容説明の場の設置などです。

((討 論))

討論とは、採決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することです。

- 議案第9号 日向市常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第10号 日向市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第11号 日向市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

反対 市長、副市長、市議会議員、教育長の期末手当を、それぞれ年間で0.05月分引き上げる内容だ。今、市民の生活全体がひっ迫してきている中では、市議会議員も含めて辛抱することが求められていると判断し反対する。【日本共産党市議団】

議案第32号 平成28年度日向市一般会計予算
反対 当市議団が要求している中学校卒業までの医療費の無料化などは反映されているが、議案不可分の原則により反対する。何よりも税制の基本は、大企業への法人税率の引き下げをやめ、市民の税負担を軽減すべきだ。【日本共産党市議団】

議案第40号 平成28年度日向市国民健康保険事業特別会計予算
反対 自営業者や無職の人たちが加入する国民健康保険制度で、保険税を払えない人たちの問題が深刻だ。負担能力をはるかに超える高い国保税だ。年間所得250万円の4人家族では、国保税が年間40～50万円になり過酷だ。【日本共産党市議団】

議案第41号 平成28年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算
議案第43号 平成28年度日向市後期高齢者医療事業特別会計予算
反対 介護保険制度からの要支援1・2の切り離しと、高い保険料と利用料の負担は問題だ。特別養護老人ホームの入所待機者が312名。後期高齢者医療制度でも、年金天引きの対象にならない低年金者が保険料を払えない。【日本共産党市議団】

議案第47号 平成27年度日向市一般会計補正予算(第6号)
反対 国民一人ひとりを、1枚のカードで将来にわたって管理強化するマイナンバー制度に基づく通知カード発行の委託料が計上されている。マイナンバー制度は廃止すべきとの立場なので、反対せざるを得ない。【日本共産党市議団】

▼委員会が提案した議案・決議の審議結果

議案番号	議案名	審議結果
議案第1号	日向市議会情報公開条例の一部を改正する条例	可決 (全員一致)
議案第2号	日向市議会会議規則の一部を改正する規則	可決 (全員一致)
議案第3号	「2020年 東京オリンピック」サーフィン競技大会招致に関する決議	可決 (全員一致)

人事案件

人権擁護委員候補者に
中西 八千代さん(再任)

人権擁護委員のうち、中西八千代さん(財光寺)が本年6月30日をもって任期満了となりますが、市民の権利擁護に貴重な経験を生かしていただくべく引き続き人権擁護委員の候補者として推薦することに同意しました。

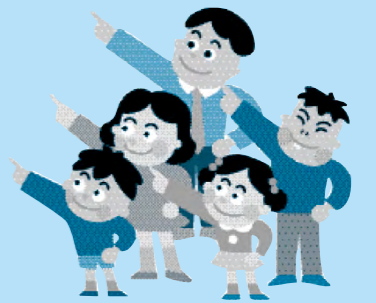
日向市・東臼杵郡町村議会
議長連絡会議員研修会



「議会が変われば自治体が変わる」自治体議会の改革はどこまで進んだか」と題して、北海道大学名誉教授の神原勝さんにご講演いただきました。日向市・東臼杵郡町村議会の議員及び職員85名が出席する中、予定時間を超える程の充実した研修でした。「議会の活動が視えない議会の評価はゼロだ」「議会は議事機関なので、論点・争点の提起を」など地方議会に対する厳しい指摘を受け、議員として、また機関としてもより一層の努力の必要性を認識した研修会でした。

一般質問

市政を問う!!



3月定例会では、2月8日から10日までの3日間、市政に関する一般質問が行われ、10人の議員が登壇しました。質問内容は、認知症患者家族へのケア、国政問題、東郷病院の改築問題、子どもの貧困、地方創生、通学路の交通安全対策、地域包括ケアシステム、任意予防接種への助成、公共施設の維持管理、合併10周年に関して、港湾行政、など多岐にわたっています。これらの中から、登壇議員が選んだ質問と市長等の答弁の要旨を紹介します。
※答弁者は、市長、教育長等です。



黒木万治 議員
(日本共産党市議団)

政治とカネの疑惑について

問 政治とカネの疑惑で現職大臣が辞任に追い込まれた。第2次安倍内閣発足以来4人目である。「未だにこんなカネのやりとりが」というのが市民の声である。一連の金権体質による事件に対する見解を求める。

答 今回のような事件、疑惑が生じているのは残念だ。国政などを司る者は、法の遵守、議会制民主政治の役割と責務の重要性を深く自覚し、疑惑などについて国民に説明責任を果たし、公平で透明な国政の運営に尽くして欲しい。

安倍政権の新3本の矢について

問 安倍政権は、今度は突然、「新3本の矢」を言い出し、「子育て支援」「安心の社会保障」「介護

離職ゼロ」「1億総活躍社会」と言っているが、まともな財源保障もないので期待できるか疑問ではないか。

答 「3本の矢」とする経済政策を推進してきたが、「新たな3本の矢」を打ち出し、より高い数値を掲げた。本市においては、雇用、所得環境の改善や個人消費にばらつきがあり、アベノミクス効果が地方まで十分に波及していない。

国民健康保険税の引き下げを

問 国民健康保険制度の都道府県会が要請した3400億円のうち既に1700億円が投入されている。国は被保険者一人当たり5000円の財政効果を計算している。どう扱っているか。方針どおり、引き下げるべきではないか。

答 低所得の被保険者数に応じた財政支援の拡充で、国ベースでは一人当たり約5000円の財政効果となっている。本市では、平成27年度の国民健康保険税率の算定において、財政支援を見込んで措置している。結果的に保険税の軽減が図られている。



谷口美春 議員
(日本共産党市議団)

消費税が10%になった場合の影響について

問 来年4月から消費税が10%に引き上げられることにより、本市が受ける影響をどのように予測しているのか。

答 消費税の増税は、家計への負担増となることから、一時的な景気の悪化も懸念されている。その対策として軽減税率の導入等も検討されているようだが、国においては、国民生活に打撃を与えることのないよう対策を講じてもらいたい。

「商店版リニューアル」の導入について

問 住宅リフォーム促進事業に続き、「商店版リニューアル」を行う考えはないか。

答 今年度の「住宅リフォーム促進事業」では、79件の交付決



柏田公和 議員
(改革クラブ結い)

子どもの貧困の現状把握は

問 子どもの貧困の現状について、どう把握しよう対応していくのか。庁内の連携体制も含め、具体的な考え方・進め方を伺う。

答 現在、実態把握と状況改善に向けた施策検討の場として、地域を基盤とした「こども貧困対策会議」の設立を県から提起されている。本市では、関係課に加え、延岡児童相談所、社会福祉協議会等の関係機関と民間支援団体により構成する実務者を中心に「子どもの貧困対策会議」を設立したいと考えている。

「障害者差別解消法」の対応について

問 平成28年4月から「障害者差別解消法」が施行されるが、職員意識の醸成を含め、市役所全体

定で補助金額は約690万円、その波及効果は約1億700万円になると分析している。「商店版リニューアル」は、他の自治体への視察を行い、調査研究してきたが、平成26年度に、国の制度である「小規模事業者持続化補助金」が創設され、補助率や上限額も高いことから、こちらを優先している。

認知症患者の家族のケアについて

問 本市が取り組んでいる「認知症初期集中支援推進事業」の課題や改善点は何か。また、認知症患者の家族へのケアはどのようにしているのか。

答 課題としては、家族が在宅介護に疲れ切ってから医療機関を受診するなど、状態が悪化してからの介入となることなどがあげられる。今後、事例を積み重ねながら課題を整理し対応していく。また、ひとり暮らしの認知症高齢者や、その家族に対する支援は、地域包括支援センターによる総合相談支援業務や権利擁護業務等を通じて対応している。

としての取組み方針等を示されたい。

答 本市においては、平成26年7月に、同法の制定に携わった弁護士から、制定理由や内容、対応等について職員研修会で説明を受けた。また、2月25日には宮崎県障害児・者相談サポートセンターのコーディネーターから、各障がいの特性やそれに応じた配慮等具体的な対応に関する研修を受ける。

教育現場の貧困の実態は

問 教育現場で、貧困を原因とする学習機会の喪失等は発生していないのか、実態把握は行われているのか、どう対応しているのか伺う。

答 小中学校の義務教育段階においては、経済的な理由で学習機会を失っているという事案は発生していない。ただ、家庭の状況によつては、生活や学習が十分になされないという子どもの存在も懸念される。各学校においては、学級担任はもちろん、養護教諭や地区の民生委員とも連携しながら、実態把握に努めている。



西村豪武 議員
(改革クラブ結い)

木材の需給拡大の
対応等を示せ

問 木材の農業用ハウスへの活用と公共施設へのCLT工法等の採用で利活用の促進を図るべきだ。

答 耳川流域杉材の生産量増加の一方で人口減少に伴い住宅着工戸数の伸びが期待できないので、新たな利活用法の検討が必要。農業用ハウスへの活用は鉄骨と比べて光量や耐用年数等課題もあり、県や関係団体と連携し研究する。今後とも林業・木材関連産業の活性化を図る上から、公共施設の木造化、内装の木質化や耳川流域産材の使用に積極的に取り組む。

職員定数削減分の縮減経費による
新雇用の場づくりを示せ

問 新たな雇用の場の創出と多様化した行政需要に応えるために、職員定数を3分の2に削減し、

指定管理者等の導入でその減数分の2倍の雇用を確保するなど思い切った定員管理が時流ではないか。

答 市場化テストは法律で対象業務が限定され、包括的な業務委託や指揮命令等に課題があり、導入に至らなかった。多様化する住民ニーズや厳しい財政事情の下、持続可能な行財政経営を目指し、良質な住民サービスの提供には事務事業の効率化の推進が必要不可欠と認識している。今後もあらゆる業務で民間活力の導入を検討し、適正な人員配置に努めたい。

市立東郷病院改築の進捗状況と
財源確保等の見通しを示せ

問 常勤医師体制の結果如何では、原点に振り返り見直しの必要性もあるのではないか。

答 平成27年度に実施設計の予定だったが、医師退職等で改築事業実施は見合わせている。今後は必要な医療体制(医師3人)を確保した上で、県から改築の同意を得て病院事業債等の主な財源を確保していきたい。新病院の機能は、必要に応じて見直しを検討したい。

ちづくり基金の寄附状況と今後の財源確保の方策を伺う。

答 街路樹の再整備や、公園化拠点ゾーンの整備に着手している。事業の推進には、私有地内の緑化や維持管理を伴うことから、市民協働で行うことが重要と考えている。日向市みどりのまちづくり基金の寄附状況については、事業所や団体など市内外から、寄附金や樹木等をいただいた。今後とも広く基金制度の趣旨を情報発信して寄附を募るとともに、フラワーオーナー制度等の導入についても調査、研究したい。

日向市芸術文化振興基本計画の
進捗状況について

問 日向市芸術文化振興基本計画の策定の進捗状況について伺う。

答 振興計画として策定するに至っていない。本市の多くの文化団体では、高齢化による担い手不足、団体の維持活動費不足などの課題を抱えており、これらの状況を踏まえた基本構想を抜本的に練り直す必要がある。

全市公園化構想の
進捗状況について

問 全市公園化構想の進捗状況と課題、及び日向市みどりのま

答 国の動向や県内各市の状況を注視していくとともに、感染症の発生及びまん延の予防の効果を検討しながら、医師会とも協議の上、計画的に検討したい。



治田修司 議員
(公明党市議団)

財光寺中学校の
通学路整備について

問 財光寺中学校から松原、切島山方面へ抜ける幹線道路の整備について、今後の計画を伺う。

答 市街化区域内を中心に44路線の都市計画道路を計画し、現在、財光寺南土地区画整理事業や街路事業などにより、整備を進めている。財光寺中学校と松原・切島山地区を結ぶ都市計画道路の「池ノ下通線」の整備については、一部区間において土地区画整理事業で着手している。残りの未整備区間は優先性や安全性などを考慮しながら、他の事業による整備も含め検討していきたい。

地域包括ケアシステムの
進捗状況について

問 地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムが求められて

いるが、認知症高齢者を支えるケアの進捗状況を伺う。

答 日向市社会福祉協議会と連携し「認知症サポーター養成講座」の開催や「コミュニケーションカフェ」の設置などに取り組んでいる。昨年10月には、県内初の「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期支援に向けた取組みを開始したほか、地域包括支援センター職員に「認知症地域支援推進員」研修を受講させるなど人材育成に努めている。

電力小売全面自由化の
広報活動について

問 本年4月から実施される「電力小売全面自由化」は生活を一変させる変化だ。市として、広報活動が必要ではないか。

答 県では、経済産業省の職員を招き、具体的な内容の説明会が開催される。市としては、それらの説明を受けて、市民の消費生活を保護する観点から、消費生活センターの出前講座をはじめ「広報ひゅうが」や市ホームページにおいて周知啓発に努めていきたい。

公民連携の推進について

問 未だ民間委託が中心で、情報が少ないのか認識が薄く、広がりに乏しい。まず各地の事例を調査、研究し、基本指針等の策定を含め、取組みが急がれると思うが、基本的な認識を示されたい。

答 基本的なあり方として、業務を単に民間委託する行政事務の外部化に止まらず、高齢者福祉、子育て、防災など直面する課題に、市民やNPO等さまざまな主体と連携し、協働することが重要だ。

学校など使われなくなった
施設の管理について

問 旧坪谷中学校の中に入って、言葉が失った。子どもたちが頑張った表彰状が壁に埃をかぶってぶら下がっていた。学校等使

われなくなった施設の、その後の維持管理のあり方について、基本的な考え方、方針等を設け適切に対応すべきではないか。

答 先生方も子どもたちも、学校生活の姿をそのまま残しておきたいという気持ちもある。今後どうすればよいか、先生、子どもたちとも連携して話し合っていく必要がある。

総合的なメンタルヘルス
チェックについて

問 近年、自治体の仕事は、劇的に密度が濃くなってきている。高度かつ専門的な知識が欠かせず、課題解決の困難性も以前の比ではない。当然、職員に特に精神面の負担がのしかかる。職場にメンタルヘルス面で問題点がないか、民間の専門機関等のアドバイスを受け、一度総合的に点検する必要があると思う。

答 来年度から、外部の専門機関に委託して全職員対象にストレスチェックを実施する。その結果を組織改善に役立てたい。



海野誓生 議員
(社民・民主の会)

日向市と東郷町の 合併10周年を迎えて

問 平成18年2月25日に日向市と東郷町が合併して10周年を迎える。10年ひと昔、中心市街地である日向市駅周辺・財光寺南地区は、区画整理事業によって新しいまちづくりが進められている。また、「細島港」の整備、東九州自動車道の開通によって企業誘致が進み、多くの雇用が創出されている。特に、中国木材の進出は、耳川流域の林業や中山間地域の再生にも繋がりが大きな期待が寄せられている。しかし、東郷地域の現状は、少子・高齢化と過疎化が進み、地域の行事等にも支障をきたす環境にある。また、農地も担い手不足や猪・シカ等による被害があり、耕作放棄地が増えている。最近「合併しても良くならない」という声を聞く。市の均衡ある発展を、どのように認識しているのか。

答 合併当初からまちづくりのキャッチフレーズを「黒潮文化と森林文化の融合」として、早期の一体化と均衡ある発展に取り組んできた。小中一貫校「東郷学園」の開校、東郷メデイキット等の企業立地、消防署東郷分遣所の開設、乗合バスの運行、「牧水短歌甲子園」をはじめとする牧水顕彰事業、まちづくり協議会による地域づくりの推進など、地域に安心して住み続けられる基盤づくりに努めてきた。昨年10月に策定した「元氣な」日向市「未来創造戦略」の中で、「薬草の里づくり事業」を重要な位置付けとして掲げ、東郷地域をはじめ中山間地域の遊休農地を活用し、雇用、新規就農の創出を図るほか、観光をテーマとした観光地づくりにも取り組む。



牧水短歌甲子園



近藤勝久 議員
(市政会)

ICTを活用した戦略について

問 今後ますます情報通信技術（ICT）が進展していく中で、教育分野等において、5年・10年先を見据えた戦略を策定する考えはないか。

答 効果的な機器の導入については、文科科学省事業の「ICT活用教育アドバイザー派遣事業」を活用して、現在、宮崎大学の教授にアドバイスをいただながら計画づくりを進めている。ICTを適切に導入することにより、教育環境の充実、整備を進めていきたい。

商業港地区の親水空間の 整備について

問 細島商業港地区の親水空間の整備について、及び旧細島駅跡地を活かした構想について、どう考えるか。

答 宮崎県の細島港湾計画の改訂で、商業港地区は当初「物流ゾーン」となっていたが、「交流ゾーン」に変更してもらった。一方、本市では、策定中の「新しい日向市観光推進計画」で、「海の駅ほそしま」を核として、「食」や「町歩き周遊ルート」など観光の拠点として位置付ける予定である。

問 沿岸漁業育成の観点から、今後の沿岸資源の放流計画、及び魚礁設置・藻場の育成について伺う。

答 本年度は、2月8日に2千尾のアカアマダイの試験放流を本市沿岸で行った。魚礁については、平成26年度に細島・平岩・美々津の3地区、計6箇所の魚礁の潜水調査を行い集魚効果が確認された。藻場の育成については、平岩地区において、平成22年度から行っており、現在2.3haまで再生している。引き続き支援を行う。



海の駅ほそしま

議会報告会その後の対応

日向市議会は、市民に開かれた議会をめざす改革の一環として、平成26年度に市民対象の議会報告会の実施を決定。第2回目となる昨年は、11月9日から16日のうち6日間の日程で、市内12カ所で開催、延べ200人の皆さまに参加いただき、多くの意見、批判、激励をいただきました。

議会では、一昨年初めて開いた議会報告会の後、「意見、質問をしたのに返答がない」という声が多く届いた反省を踏まえ、今回は、①その場で回答できるものは回答する、②資料等少し調べれば分かる質問は後日文書で回答する、③きちんとした調査が必要な問題については、所管する委員会に付託して対応を検討する、の3点を確認して臨みました。

議会報告会終了後、その場であるいは文書で回答済みの要望、質問等を含め、一度全議員で点検すべく、整理した全127件について、それぞれ所管する委員会に審査を付託しました。

付託を受けた委員会は、対応が必要と判断された課題等について、今後審査を行うことになりました。

各委員会の審査事項は、次のとおりです。

- ◇総務政策常任委員会
 - ・ 人事評価制度について
 - ・ 地域おこし協力隊について
 - ・ ぷらっとバスの運行について
 - ・ 東郷地区、南部地区の救急体制について
- ◇文教福祉環境常任委員会
 - ・ ソーラーパネルの設置に伴う自然環境への影響等について
 - ・ 子育て環境（子どもの遊び場の状況）について
- ◇産業建設水道常任委員会
 - ・ 危険箇所について
 - ・ 市道の整備について
 - ・ 市街化調整区域について
 - ・ 沿道美化について
 - ・ 遊歩道の整備について
 - ・ 観光資源について
 - ・ 中小企業振興について
- ◇総合防災対策特別委員会
 - ・ 避難場所への自家発電機の設置について
 - ・ 石びつ山への避難場所、避難道の整備について
 - ・ 高見橋地区、中原地区、南町等の水害対策について
- ◇議会改革特別委員会
 - ・ 議員定数について

戦争法廃止で かけがえのない平和を



荻原紘一 議員
(日本共産党市議団)

問 安保法制（戦争法）がもたらしている現実的危険として、アフリカの南スーダンのPKO（国連平和維持活動）に派兵されている自衛隊の任務が拡大されようとしていることがある。また、これまでも海上自衛隊のヘリ空母「ひゅうが」も参加した日米統合演習、武力行使のための訓練が行われていること等は軽視できないと思うがどうか。

答 自衛隊員や相手方の生命も脅かされ、国家間の紛争にも発展することが予想されるので、慎重な判断を求めたい。

子ども・若者の ねがいに応える社会、政治を

問 「子どもの貧困率」は6人に1人の割合と言われているが、市の実状と基本的な対策方針を伺

う。また若者の2人に1人が非正規雇用、低賃金で不安定な生活を強いられている。市においても正規雇用を基本とした雇用のルールの確立を図るべきではないか。

答 小中学校における就学援助は増加の傾向にある。「子どもの貧困対策会議」を設立し取り組む。「雇用に関する推進会議」で正規雇用への転換を進める方策などの協議を行っている。

問 ブロイラー（死鶏）問題に関わるこれまでの経緯、原因究明と対策、関連企業の社会的責任、生産農家の生活経営を守るための国、県、市としての役割についてどのように考え対応を強めているのか。

答 鶏大腸菌症を制御するまでに至っていない。市としては養鶏産業は基幹産業であるので、今回の問題について引き続き生産農家からの情報収集に努め、インテ（関係企業）や県家畜保健衛生所等と対応を協議しながら農家の経営安定を図っていききたい。

ブロイラー生産農家の 経営を守る対応を

行政視察報告会

委員会相互の情報共有を図ると共に、議員の資質向上と市政への反映を目的に、職員及び区長公民館長連合会にも参加を呼びかけ、本年度5回目となる行政視察報告会を3月22日に開催しました。議員・職員・区長など約50名が参加する中、先進地の取組みを視察した各委員会が視察の内容を報告し、質疑を行いました。視察内容は次のとおりです。

なお、報告会の資料は、日向市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

総務政策常任委員会

【日程】平成27年11月4日～6日

【内容】オガールプロジェクトについて
(岩手県紫波町)

マイナンバー制度導入と
自治体業務見直しについて
(神奈川県藤沢市)

文教福祉環境常任委員会

【日程】平成27年10月28日～30日

【内容】沖縄県学力向上主要施策
「夢・にぬふぁ星プランIII」
(沖縄県教育委員会)

スポーツ関係施設の
整備状況について
(沖縄県宜野湾市・名護市)

南風原文化センター・沖縄陸軍
病院南風原壕群20号について
(沖縄県南風原町)

産業建設水道常任委員会

【日程】平成27年11月4日～6日

【内容】ワーキングホリデーについて
(長野県飯田市)

地産・消推進事業・6次産業化
の取組みについて
(群馬県高崎市)

富岡製糸場を活用した
観光振興について
(群馬県富岡市)

公共施設マネジメントに関する調査 特別委員会

【日程】平成27年10月21日～22日

【内容】PFIについて
(千葉県千葉市)

公共施設の再配置について
(神奈川県秦野市)

公共施設再整備基本方針について
(神奈川県藤沢市)

議会運営委員会

【日程】平成28年1月19日～20日

【内容】通年議会について
(大阪府大東市)

議会運営、議会改革について
(山口県山陽小野田市)

今後の議会日程

◇6月定例会予定

- 6月 3日(金) 本会議 提案(開会)
- 13日(月) 本会議(一般質問)
- 14日(火) 本会議(一般質問)
- 15日(水) 本会議(一般質問)
- 16日(木) 本会議(一般質問)
- 17日(金) 本会議(議案質疑)
- 20日(月) 常任委員会
- 21日(火) 常任委員会
- 22日(水) 常任委員会
- 24日(金) 本会議 採決(閉会)

※日程は変更される場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。

◆◆ 編集後記 ◆◆

風薫る新緑の季節になりましたが、市民の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

今定例会は、市長選挙の実施に伴い、例年より1ヶ月早く開催されました。

3月31日に十屋新市長が初登庁、新しい市政運営に注目が集まっています。

さて、議会広報特別委員会も新体制になり、早いものでやがて1年が経とうとしております。表紙のデザインも一新し、市民の皆さまからも「表紙が変わったね!」との声もいただいております。

これからも私達委員全員で読みやすく、わかりやすい市議会だよりの作成に取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

議会広報特別委員会

本誌に掲載された質問や答弁など、詳しい内容をお知りになりたい方は、会議録(5月末発行予定)をご覧ください。会議録は議会事務局、市立図書館に備えています。また、市議会のホームページでも、会議録の検索と閲覧ができます。

日向市議会

検索

★お問い合わせは日向市議会事務局まで★

〒883-8555 日向市本町10番5号 TEL:(52)8348 FAX:(52)8148 E-mail:gikai@hyugacity.jp